

産業図案切手

発行年	発行年月日	額面	通 称	Keyword1	印刷方式
1948年	1948/11/20	2円	産業図案切手	農婦	平版
1949年	1949/5/20	3円	産業図案切手	捕鯨	平版
1948年	1948/11/1	5円	産業図案切手	採炭夫	平版
1949年	1949/11/15	5円	産業図案切手	茶摘み	平版
1949年	1949/11/25	6円	産業図案切手	印刷女工	平版
1949年	1949/6/1	8円	産業図案切手	採炭夫	平版
1948年	1948/10/16	15円	産業図案切手	紡績女工	平版
1949年	1949/1/15	16円	産業図案切手	穂高岳	凹版
1949年	1949/5/10	20円	産業図案切手	植林	平版
1949年	1949/5/10	30円	産業図案切手	郵便配達	平版
1949年	1949/10/15	100円	産業図案切手	製鋼	凹版
1949年	1949/9/26	500円	産業図案切手	SL製造	凹版

引用 うめ 日本切手図鑑 2008

●産業図案切手：さんぎょうずあんきって

1948～49年に発行された普通切手のシリーズの名称。戦後の産業復興に携わる労働者の姿を描くシリーズで、2円から500円まで11種(16円穂高を含め12種)ある。

第1次昭和切手以来の、図案テーマがまとまったシリーズ。とはいえ、デザインは不統一である。戦後の復興期にあたり、用紙・刷色・裏糊などに、バラエティが多い。

1950年代、中国・東欧など共産圏諸国で同様の労働者をテーマにした普通切手シリーズが多いのは偶然か？

●概要

発行日	額面：図案	主な用途

*《#312》1948-11-20：2円：農婦	：はがき	
*《#313》1949-05-20：3円：捕鯨	：第3・4種の一部	
《#314》1948-11-01：5円：炭坑夫	：封書	
《#315》1949-11-15：5円：茶摘み	：船便印刷物など	
*《#316》1949-11-25：6円：印刷女工	：第4種印刷物	
*《#317》1948-11-25：8円：炭坑夫	：封書	

《#318》1948-10-16：15円：紡績女工 ：速達料金

《#319》1949-01-15：16円：穂高岳 ：船便書状

*《#320》1949-05-10：20円：植林 ：書留料金

*《#321》1949-05-10：30円：郵便集配人：配達証明など

*《#322》1949-10-15：100円：製鋼 ：別納など

*《#323》1949-09-26：500円：機関車製造：別納など

＊印の8種は、後に「昭和透無切手」が発行された。

●経過

戦後：料金値上げの都度、建物・美術品・数字など図案に統一性のない切手が発行されてきた。

1948年5月：通信文化委員会で、農業・工業・林業・水産など、戦後日本の再建を担う産業に従事する人々の姿を普通切手の意匠にすることが決められた。そして、まず農婦・炭坑夫・紡績女工が選ばれた。

1948年10月16日：★《#318》15円普通切手から、産業図案切手の発行が始まる。1949年11月25日の6円切手まで合計11種類が発行された。図案は農夫・捕鯨・炭坑夫・茶摘み・印刷女工・紡績女工・植林・郵便配達夫・電気炉・SL製造である。図案のテーマは1つだが、意匠的にはあまり統一性がない。額面表示は、従来の漢数字併記をやめて、アラビア数字だけにした。

1948年12月3日：★《S_E1》選挙事務証紙の発行。農婦2円切手に「選挙事務」と加刷した。

1949年1月15日：★《#319》外信用16円切手(穂高岳の風景)の発行。ほかに適当なグループがないため、カタログでは便宜上これを「産業図案シリーズ」に含めている⇒#319。

1949年9月26日：★《#323》空前の最高額面である、機関車製造500円切手が登場した。

1949年11月25日：★《#316》印刷女工6円(シリーズ最終発行)。

1951～52年：産業図案切手のうち8種が、印刷効果を高めるために透かしの無い用紙に改められている。カタログでは、これらを「昭和透無切手」として別に分類している。



